

さまざまな子どもたちが、出会い、共に育ち合う！

2017年 アサヒ夏いろキャンプ

と案内



「一人ひとりが輝く空間」をテーマに、障害のある子とない子がともに楽しむキャンプです。

さまざまな子どもたちが大自然の中、学生たちと共に笑い、遊び、楽しさを共有しながら、育ち合います。障がいのある子もない子も、ありのままでOKの空間・時間の中で、一人ひとりが認められ、そして輝き、仲間とともに達成感や満足感を味わいます。

学生約25人は、年間を通じて活動し、支援スキルを高めて、子どもたちに対応します。寝食を共にし、たくさんの反応、笑顔、行動で子どもたちの体験を豊かにします。かけがえのない思い出は、きっと未来への意欲につながることでしょう。

主催 NPO法人アサヒキャンプ名古屋
後援 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 愛知県自閉症協会
あいちLD親の会かたつむり ダウン症親の会エンジェル
ディスレクシア協会名古屋 星の子ステーション
個性の強いこどもを地域で支える会 子ども支援室カシオペア

〈初めて申し込みをお考えの方向け説明会〉

アサヒキャンプの学生や、キャンプの内容について説明します。2回開きますので、いずれかご都合のよい方にお越しください（※この会に参加しなくても申し込みはできます）

とき 2017年5月20日（土）、6月3日（土）

いずれも午後1時15分～2時30分（1時受付開始）

ところ アサヒキャンプ名古屋事務所（地下鉄神宮西駅①出口徒歩1分）

参加費 無料 参加希望者はメールまたはFAXでお申し込み下さい。担当：中久木

asahicamp.nagoya@gmail.com 電話 052-908-0623 FAX052-908-0635

2017年 アサヒ夏いろキャンプ 募集要項

〔と き〕 Aキャンプ（2泊3日）：8月8日（火）～8月10日（木）
Bキャンプ（3泊4日）：8月14日（月）～8月17日（木）

〔ところ〕 乙女溪谷キャンプ場（岐阜県中津川市加子母 標高800m）
キャンプ場事務所TEL0573-79-3474（管理：加子母森林組合 TEL0573-79-3333）

〔対 象〕 小学3年生から中学3年生の児童・生徒
障がいのある子（自閉症、ダウン症、知的障がい、LD、ADHD、自閉症スペクトラムなど）と
障がいのない子（健常児）

〔定 員〕 各キャンプ35人

〔目 的〕 ささまざまな障がいのある子とない子が、野外での共同生活の中で、一人ひとりが輝き、
楽しい思い出をつくります

〔グループ構成〕

障害のある子、ない子などさまざまな子どもで編成した男女別の5人グループを、アサヒキャンプ
カウンセラーが1人または2人で担当、計7グループです。グループの外側から、別の学生スタッフ
10人も子どもたちをサポートします。グループ分けおよび担当カウンセラーについては、当団体が決めさ
せていただきます。

〔運営スタッフ〕

アサヒキャンプカウンセラー（大学生）約25人
NPO法人アサヒキャンプ名古屋 事務局スタッフ2人（全体責任者：中久木俊之）
助言者 金子忠明氏（愛知県立春日台養護学校小学部主事）ほか
看護師 各キャンプ 1人

〔参加費〕 Aキャンプ（2泊3日）29,500円（7/9説明会とキャンプ2泊3日、計4日間の費用）
Bキャンプ（3泊4日）34,500円（7/9説明会とキャンプ3泊4日、計5日間の費用）

※ 施設利用費、食費、保険料、大学生キャンプカウンセラーの交通費など。郵便振替で納付
※ 2017年度初めてのアサヒキャンプ行事参加の方は、利用者年会費2,500円が別途必要です。

〔説明会〕 Aキャンプ：7月9日（日）午前10時～正午 東海市しあわせ村（東海市）
Bキャンプ：7月9日（日）午後 2時～4時 //
内容：グループのメンバー・スタッフの紹介、プログラム・持ち物の説明など

〔プログラム〕 **A キャンプ**（2泊3日） **B キャンプ**（3泊4日）

8/8：午前9時、名古屋から大型バスで出
発。正午キャンプ場着。野外炊事、
キャンプファイヤーなど

8/9：グループごとの自由時間。川遊びや
ハイキング、おやつ作り、工作など
夜、思い出会

8/10：川遊び、午後キャンプ場出発。夕方、
名古屋着、解散

8/14：午前9時、名古屋から大型バスで出
発。正午キャンプ場着。野外炊事、キ
ャンプファイヤーなど

8/15：グループごとの自由時間。川遊びや
ハイキング、おやつ作り、工作など

8/16：グループタイム。夜、思い出大会

8/17：片付け。午後キャンプ場出発。夕方、
名古屋着、解散

- ※ 宿泊はバンガロー泊（6畳）で、マットと毛布で寝ます。トイレは2ヶ所とも水洗です。シャワーがあります。
- ※ 食事は自炊が基本です。自分たちで作ったという達成感を大切にしています。
- ※ 雨天時は室内集会場（40畳）で遊びます。雨が降っても楽しむ場所を確保しています。
- ※ 電子ゲーム機、携帯電話などは持ち込み厳禁です。ご協力をお願いします。

〔集合・解散〕

Aキャンプ：集合 8月8日(火)午前9時 名古屋テレビ塔北側集合 9時20分出発
(地下鉄栄駅徒歩5分、久屋大通駅徒歩2分)
：解散 8月10日(木)午後4時 名古屋テレビ塔北駐車場 4時20分散散

Bキャンプ：集合 8月14日(月)午前9時 名古屋テレビ塔北側集合 9時20分出発
：解散 8月16日(木)午後4時 名古屋テレビ塔北駐車場 4時20分散散

〔アフターキャンプ・保護者への報告会〕

Aキャンプ：9月10日(日) 東海市しあわせ村(予定)
Bキャンプ：9月24日(日) // (※日程は変更になることもあります)

〔申し込みから参加までの流れ〕

- ①申込書記入 所定の申込書(複写したものでOK)にもれなく記入し、写真を貼ってください。
- ↓
- ②申し込み 申し込みの方法は郵送をお願いします。
〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階
NPO法人アサヒキャンプ名古屋 夏いろキャンプ係
6月13日(火)までに申し込みください。
※定員を超えた場合は抽選をさせていただくことがあります。ご了承下さい。
- ↓
- ③資料送付 参加が決まり次第、郵送で説明会案内、郵便振替用紙、詳細などの資料をお届けします。
- ↓
- ④参加費納入 郵便振替にて、納めていただきます。

〔説明会以降のキャンセル料金〕 8日前まで/参加費の20%、7~4日前/参加費の30%、3日前~2日前/参加費の50%、
前日当日/参加費の100%

〔安全管理〕 ・キャンプでのケガや事故を未然に防ぐため、活動場所の下見、カウンセラー研修の実施、危険を最小限にするための安全対策を行っておりますが、危険や事故がないということを保証するものではありません。
・全体の安全な運営のため時に参加をご遠慮いただくようお願いすることがあるかもしれません。
・乙女渓谷キャンプ場は、車で15分~30分の場所に複数の病院があり、何かあった時は看護師が応急手当を行い、すぐに診察していただきます。また、当団体の学生カウンセラーは、活動中の事故などに備え、日本赤十字社の救急法の短期講習を受けています。
・万が一に備えて、参加者は日本キャンプ協会のキャンプ保険(国内旅行傷害保険、引受保険会社：東京海上日動火災保険)に加入します。(参加費に含まれています)
以上のことをご承知いただきますようよろしくお願いいたします。

〔写真・ビデオについて〕 キャンプの写真や記録ビデオは、参加者に有料でお分けしています。キャンプ中の様子を知りたいという保護者の要望にお応えするためです。
(※表紙の写真は掲載の許可を保護者からいただいております)

〔個人情報について〕 参加者より取得した個人情報は、法令を遵守しキャンプ運営にのみ使用します。申込書は返却致しませんので、ご承知いただきますようお願い申し上げます。

〔参加の申し込み・申込書請求・問い合わせ先〕

NPO法人アサヒキャンプ名古屋 夏いろキャンプ係
〒456-0024名古屋熱田区森後町7-14 沼田ビル3階 TEL:052-908-0623
FAX:052-908-0635
E-mail: asahicamp.nagoya@gmail.com

◇キャンプ参加希望の動機やキャンプへの期待など

◇お子さんの特徴に配慮したキャンプを行うため、特徴や留意点を教えてください。

☆現在、とても興味のあることや好きな遊びと留意点

☆対人関係、コミュニケーションについての特徴と留意点

☆その他、生活面、行動面、運動面についての特徴と留意点

◇夏いろA・B、川のほとりに参加を申し込む(予定)の友人・知人 無・有(名前) 夏いろA・B・川ほと

◇アサヒキャンプについて初めてお知りになられたきっかけを差し支えなければ教えてください(複数OK)

・案内チラシ ・知人から ・HP ・FB ・学校から ・親の会() ・支援員養成講座 ・その他()

◇障がいのあるお子さんは、特徴に配慮したキャンプを行うため、以下の欄にも記入して下さい。

- ◆ 診断名 知的障がい・自閉症・ダウン症・LD・ADHD・自閉症スペクトラム・てんかん・視覚障がい、聴覚障害、その他()
- ◆ 身体障がいの程度 なし ・ あり(程度:)
- ◆ 知的障がいのレベル 高機能・軽度・中度・重度

◇生活支援(食事、排泄、就寝など具体的な留意点や介助・支援方法をくわしく教えてください)

◇会話の特徴と支援 ・日常会話には問題がない ・簡単な会話ができる ・単語だけを話す
・まったく言葉がない ・その他()

◇理解の特徴と支援 指導者や友人の話について
・理解できる ・できないときがある ・できない
支援の方法や工夫()

◇行動の特徴と支援(感覚の特徴など)

◇危険な場所や状況の察知 ・できる ・できないときがある ・できない

◇その他